



MEMS事業者連携委員会

委員長：年吉洋（東京大学生産技術研究所 所長）
 事務局：長谷川英一、八嶋昇
 発足：令和5年（2023年）11月28日

委員会発足の背景

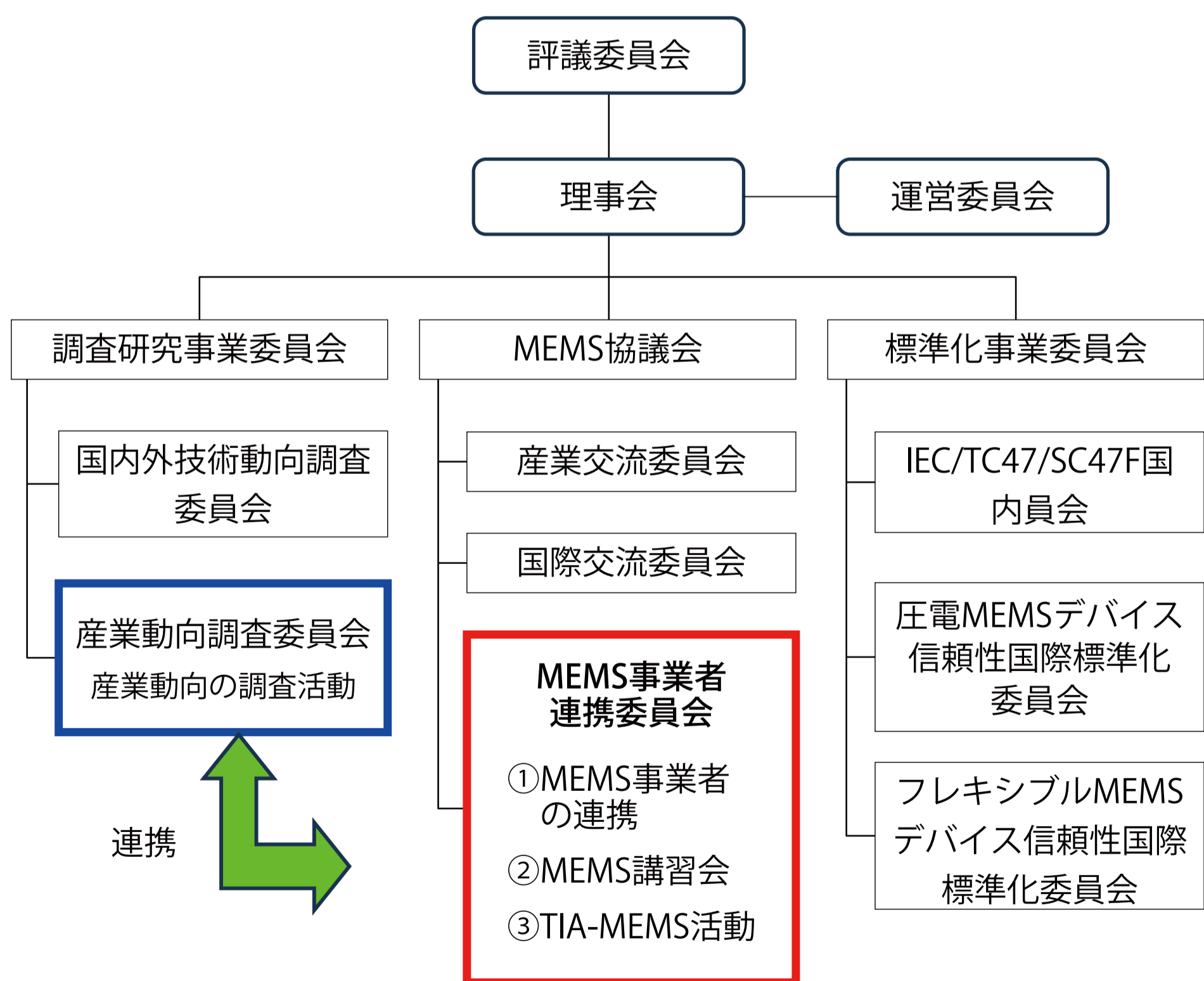
- MEMSが本格化する2000年代には、我が国でも多くの企業がMEMSやファウンドリに参入してくるとともに、マイクロマシンセンターでも、MEMS ONE、ファインMEMS、BEANSなど、MEMS自体の設計・製造技術に係る研究開発プロジェクトを続け、我が国MEMS産業は一気に発展したところ。
- しかし、その後、自動車やモバイル機器に大量にMEMSが使われてコモディティ化してくるにつれ、プレイヤーも淘汰されたり、製品も変容したりして、その顔触れも大きく変化してきている。仏Yole社のMEMS世界トップ30の中でも、日本企業は2016年には11社が入っていたが、2023年には4社となっている。
- このような中、MEMS協議会としても、我が国MEMS産業界の実態を、IDMのみならず、ファウンドリや装置・材料なども含めて、もう一度把握し直した上で、その課題や政策提言などを検討していきます。

委員会活動内容

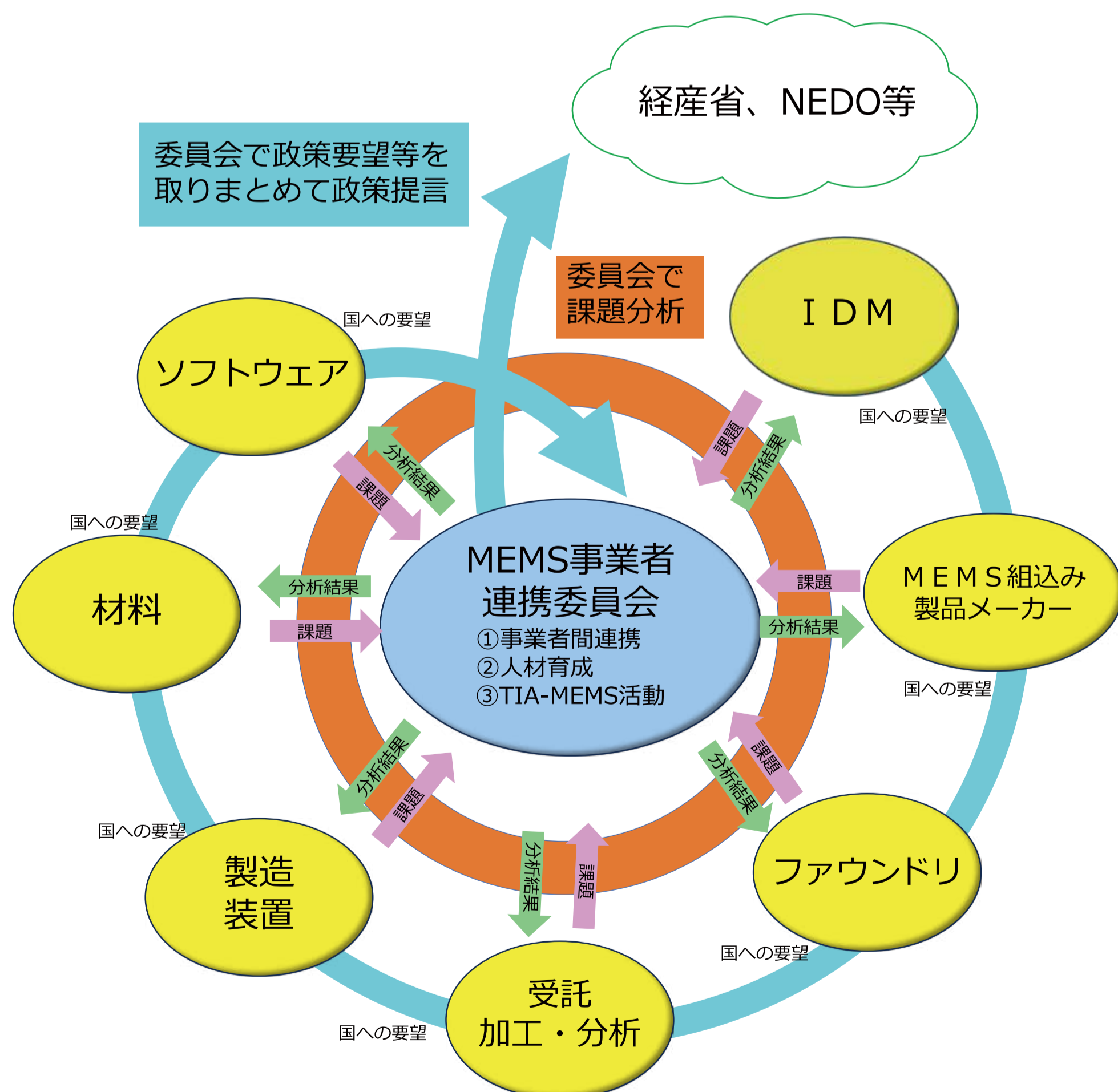
- 25年度第1回委員会(6/5)では、経済産業省の「半導体・デジタル産業戦略の現状と今後(2025/5/30)」の「アナログ・レガシー半導体に対する今後の支援の考え方」の中で「電子部品やMEMS等、また半導体については前工程のみならず設計や後工程も含め、官民で政策のアプローチを検討していく。」とされているところに着目して、経済安全保障について民からの官への要望を補強できるように検討を深めていくことを確認しました。
- 第2回委員会(11/6)では、経済安全保障の施策マッピング等におけるMEMS技術の位置づけの明確化などにより、経済安全保障に組み込まれることの必要性について議論しました。さらにAIロボティクス、フィジカルAIなど、フロンティア領域の実現のためにはMEMS/マイクロナノ技術が不可欠であるとのアピールを強化していくことなども議論しました。
- 第3回(2/19予定)に向けて、産業動向調査委員会のフロンティア領域に関する調査研究などとも連携し、ポスト5G、AIロボティクス、リビングデバイス、バイオセンサなどの研究開発にMEMSとしての貢献ができるよう、技術開発の新規立案や、施策のウオッチングなどを継続します。

委員募集中

- MEMS事業を行っている事業者からの委員募集を継続中。
委員登録は下記QRコードからアクセス。



2025年度マイクロマシンセンターの委員会構成



MEMS事業者連携委員会活動内容

【お問い合わせ先】

一般財団法人マイクロマシンセンター MEMS関連事業者動向調査事務局
 TEL:03-5835-1870
 Mail: memsco.survey@mmc.or.jp

委員登録フォーム

